



豊中・サンマテオ姉妹都市

# 提携ニュース

Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo

## 2007



豊中・サンマテオ姉妹都市協会  
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo  
第37号

# サンマテオ 訪問レポート



第34回高校生英語弁論大会で豊中市長賞を受賞した八島さんが、昨年8月に親善使節としてサンマテオ市へ派遣され、サンマテオ市長を表敬訪問したり、1週間のホームステイを経験して帰ってこられました。

豊中市長賞受賞 八島 在紗 さん

今回、豊中市の親善使節としてサンマテオ市に一週間派遣されました。このようなまたとない経験ができて本当に嬉しく思います。豊中市、サンマテオ市、姉妹都市協会、そしてサンマテオでお世話になった全ての方に感謝しています。

私は2005年の夏、カナダに短期留学しました。コンテストでは、その経験が消極的だった私を少し積極的に変えた、という内容のスピーチをしました。しかし、私は今もまだ人見知りしがちで、行く前は一週間という短い期間で向こうの人たちとうち解けることができるかどうか少し不安を感じていました。

アメリカでは、サンマテオ市長を表敬訪問し、サンマテオやサンフランシスコ、ヨセミテを観光しました。中でもヨセミテは本当に壮大で、言葉では言い表せないような感動を覚えました。私はハーブドームが一番好きです。自然が作ったとは信じられないほどきれいな形をしていて、大自然の力を見せつけられた気がしました。初めてしたウェイクボードもかなり楽しかったです。



サンマテオ市長を表敬訪問

## The City of San Mateo



行く前に私が感じていた不安はアメリカに着くとすぐに吹き飛びました。ホストマザーのキャロラインも、ヨセミテに連れて行ってくれたムサンテ夫妻も、サンフランシスコを案内してくれたディマティオ一家もヴァージニアも、一緒にウェイクボードをしたダレン、AJ、デイブも、みんな親切で明るくて優しい人たちでした。自分から話しかけることのあまりない私に、たくさん質問したり、色々なことを教えてくれました。彼らのようにたくさんしゃべれるになりたい、もっと英語がうまくなりたいと心から思いました。キャロラインは「サンマテオに来たらいつでも泊まる家があるよ」と言ってくれました。この言葉を聞いたとき、自分は本当に幸せだ、絶対いつかこの町にまた来ようと思いました。

正直に言うと、スピーチコンテストに参加するまでサンマテオという都市も豊中に姉妹都市があったことも知りませんでした。多くの日本人はきっと知らないような町に滞在し、市の施設や大学や高校を見て、人々の生活に少しでも触れられたということはとてもよい経験となりました。これは、このプログラムで私が体験したことの中で最も重要なことだったと思います。

普通の高校生ではめぐり会えないこの貴重な機会を与えられたことに本当に感謝しています。これからも、このようにサンマテオを知り興味をもつきっかけとなる機会が増え、より多くの人たちがお互いの文化を理解し交流できたらいいなと思います。

最後にもう一度、  
本当にありがとうございました。  
ございました。

サンマテオの街並み



豊中からサンマテオに生活の場を移された平井晶子さんが、日々の生活を「サンマテオ生活体験記」としてレポートにまとめていただきましたので、ご紹介します。



# サンマテオ生活体験記

平井 晶子

## week report

夫のサンマテオ勤務に伴い、私もたった1年間だがこちらで生活することになった。

普通ならアダルトスクールなどのESL（英会話教室）に通い、英語をマスターしつつ知人を増やし、生活基盤を固めていくのだろうが、乳児連れの私にはそれもしにくい。

そんな状況だから、当初は日本に思いを馳せ、自分の境遇を恨めしく思ったものだが、住めば都とはよく言ったもので、今となっては永住したいくらいだ。

もちろん英語は相変わらずさっぱりだが、サンマテオはそんな私にもとても優しいまちである。

日本人もたくさんいるし、日系のスーパー2軒もある。

もちろんそれだけがサンマテオの良さではない。

まだ滞在して日が浅いため、あくまでも表面上の良さしか味わえていないのかもしれないが、それでも十分に素晴らしいこのまちについて、私の日々の生活をお話しする形で紹介したい。

**週の初め。**近くの図書館で毎週行われている「Story Time」に出かける。0歳児のための絵本と歌の30分だ。当然すべて英語なので、私は適当に小声でハミング。ただ、サンマテオ周辺は中国人が多く住んでいて、中国人の祖父母が孫を連れてきているという構図をよく見る。Story Timeも例外ではなく、英語より中国語の方が盛り上がるのではないかとすら思う。

Story Timeが終わると、同様に参加していた日本人のお母さんたちとしばしばしゃべりする。私はアメリカ生活も育児も初心者なので、こういう機会は本当にありがたい。ちなみに近くの図書館といっても、歩くと30分の距離。

そもそもアメリカでは、ダウンタウン（繁華街）はともかくとして、歩いてどこかに行くという感覚はないと思われる。車が大前提だ。散歩やジョギングでさえ、それができる場所に車で乗



ヒルズデイルショッピングセンター外観



セントラルパーク

りつけることが多い。

サンマテオなら、東がラグーン（湾）になっており、ジョギング、サイクリング、散歩のための道が整備されている。日中はスポーツウェアを身にまとった人たちが、走ったり、ローラーブレードをしたり、自転車に乗ったりして、ストローラー（ベビーカー）を押す私を颯爽と追い抜いていく。追い抜くときはちゃんと声かけしてくれることが多い。

そういえば、こういったちょっとした親切、コミュニケーションがこちらではごくごく普通に行われる。特に赤ちゃん連れだと、赤ちゃんに声かけしてくれたり、お店などで扉を開けておいてくれたり必ずしてくれる。

こういった親切な雰囲気が根底にあるので、赤ちゃんを連れての外出が全くおっくうでない。こちらに来る前は、アメリカでは子どもは大人の領域に入れない（レストランに入れない、など）と聞いており、何となく子どもに厳しい印象があったのだが、大間違い

## in San Mateo City

だった。子どもも社会の一員であるがゆえに、社会ルールが適用されているという印象だ。大人側からの一方的な規制ではない。もちろん子どもは小さな大人になる必要はなく、普通に振る舞っておけばいい。結局言いたいのは、子どもがそこかしこにいて当然な社会だということだ。日本では、子ども連れで出かけると邪魔者扱いされがちだった。私がこちらで永住したいとまで思ったのはつまるところ、子育てのしやすさ、この一点につきる。

**火曜日。**サンマテオを南北に貫く高速道路を使い、30分かけてサンノゼという大きな町まで行く。この町の日本人のご自宅で、赤ちゃんをもつ親が集まる、赤ちゃんのプレイグループが開かれているからだ。これは、あくまで個人の集まりなので、好意で自宅を開放して下さっているわけだから本当にありがたいことだ。サンマテオのどこかの家でも必ずこのように集まっていると思うのだが、あいにくまだ巡り会えていない。それにしても、日本では車に乗る必要性をみじんも感じなかったものだから、私が高速道路を使う日が来るとは思ってもみなかった。いざ使ってみると、やはりとても便利だ。無料なので気兼ねなくどこにでも行きたくなる。毎日のちょっとした買い物にも高速道路を使っている。

**水曜日、**近くにあるサンマテオカレッジで、毎週水曜、土曜に開かれているファーマーズマーケットに行く。例によって近くと言ってもラグーンと反対方向に高速道路で10分強の距離。もはや山の中だ。地元の農産物や、パン、お花などが並ぶ。安く、新鮮なので、とてもにぎわっている。私にとってはちょっとした観光気分を味わえる場所だ。



サンマテオの街並み



ヒルズデイルショッピングセンター内部

## サンマテオ生活体験記



**木曜日**、近くのショッピングセンターへ買い物に行く。アメリカのショッピングセンターはとて大きい。1店舗がコーナンぐらいあり、それが10近く並ぶので本当に大規模なものになるが、そこら中にある。そこに行けば何でもそろうので便利だが、いかんせん広すぎて、店舗間は車に乗らなくては移動する。

**金曜日**。長く散歩したりして過ごす。ラグーン沿いを延々と歩く。雀に始まり、鴨や鶯、鶉、雁など、たくさんの鳥がいる。たまに野うさぎにも会う。ちなみに、リスなら街路樹などそこら中にある。

動物と言えば、こちらでは犬を飼っている人が多い。そしてそういう人はラグーン沿いにあるドッグランという犬のための囲いの中でよく犬を遊ばせている。私もよく見に行く。

アメリカは、こういうふうな状況や対象によって、それにふさわしい場所が必ず用意されているように感じる。だから摩擦が少なく過ごしやすい。広さゆえだろうが、素晴らしいと思う。

サンマテオのダウンタウンにはお店だけでなく大きな公園があり、子どもたちが楽しそうに遊んでいる。なぜか日本庭園も併設されており、私もたまに散歩する。これも広さゆえの贅沢だろう。

**土曜日、日曜日**は夫の休日なので、少し遠出をする。サンマテオカレッジをさらに西に抜け、30分ほどいくと太平洋だ。ビーチがそこかしこにあり、みな思い思いに海辺を楽しんでいる。まだ寒いのに泳いでいる子どももいる。寒いと言っても、日本の冬のような気温ではない。私も今年はコートを着なかった。

時にはサンフランシスコにも行く。サンマテオは、前述のサンノゼとサンフランシスコのちょうど中間地点にあり、そういう意味でもとても便利なのだ。ちなみにサンマテオのラグーンからもサンフランシスコのビル群を望むことができる。

これが私の一週間の生活だ。細かい不満はもちろんあるが、

豊中市から贈られた五重塔



一言で言うなら、  
サンマテオは最高である。

日本庭園



## The 35th 第35回 高校生英語弁論大会

Annual English Speech Contest

2007年1月27日、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の第35回高校生英語弁論大会が、とよなか国際交流センターで開催され、9校18人の高校生の皆さんが参加しました。



豊中市長賞の野村さんは、「何のために英語を勉強するの?」という題で、オーストラリアに短期留学したときの経験を交え、コミュニケーションの大切さや将来の夢について語りました。

サンマテオ市長賞の和田さんは「命の重み」という題で社会問題になっている自殺について論じ、命がどれほど大切か、病気で大人になるまで生きることのできなかった友達への想いをこめて訴えました。

国際ソロプチミスト特別賞を受賞した原さんは、中学生のときに所属していた「サークル ひこうきぐも」という障害者への偏見をなくすクラブ活動で感じたことを述べ、一年生としてただひとり入賞しました。

※ 国際ソロプチミスト特別賞は、国際ソロプチミスト豊中・千里からの寄付金により設けられています。



審査員は千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院大学助教授のウィリアム・クラインさん、当協会常任理事の川合隆子さんの4人をお願いしました。

大会終了後、審査員からは「英語弁論大会の出場者のレベルは年々上がってきており、今年はとくに弁論の内容や発音、発表の仕方など全体に素晴らしいででした。これからもコミュニケーション力をみがき世界を広げてほしい。」との講評をいただきました。

なお、豊中市長賞受賞の野村さんと、サンマテオ市長賞受賞の和田さんは、今年の8月に親善使節としてサンマテオ市に派遣される予定です。

## NEWS



ジャック・マシューズ市長

### ■ 新市長はジャック・マシューズさん

2006年12月にサンマテオ市議会の改選があり、新市長はジャック・マシューズさんに決定しました。新しい人事は以下のとおりです。

■ 市長：ジャック・マシューズ Jack Matthews

■ 副市長：キャロル・グルーム Carole Groom

■ 議員：ジャン・エプスタイン Jan Epstein

■ 議員：ブランド・グロット Brandt Grotte

■ 議員：ジョン・リー John Lee

### 2007年度の予定

2007年 6月 豊中・サンマテオ姉妹都市協会総会

8月 高校生親善使節派遣

サンマテオ市から少年野球チーム来豊

2008年 1月 第36回 高校生英語弁論大会

### BASEBALL

